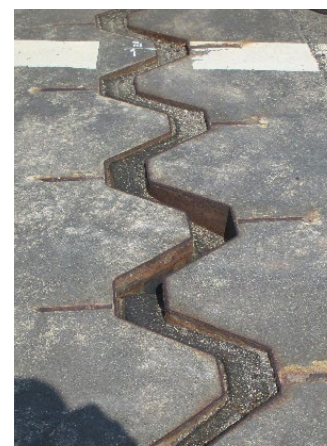


## YKB-J工法が適用可能な伸縮装置



### タイプ名称 縦溝型

施工目安	5m/1日	
工程	既存止水材撤去～研磨	半日
	止水材充填	半日



### タイプ名称 横溝型、フェースプレート

施工目安	5m/1.5日	
工程	既存止水材撤去～研磨	1日
	止水材充填	半日



### タイプ名称 フィンガージョイント

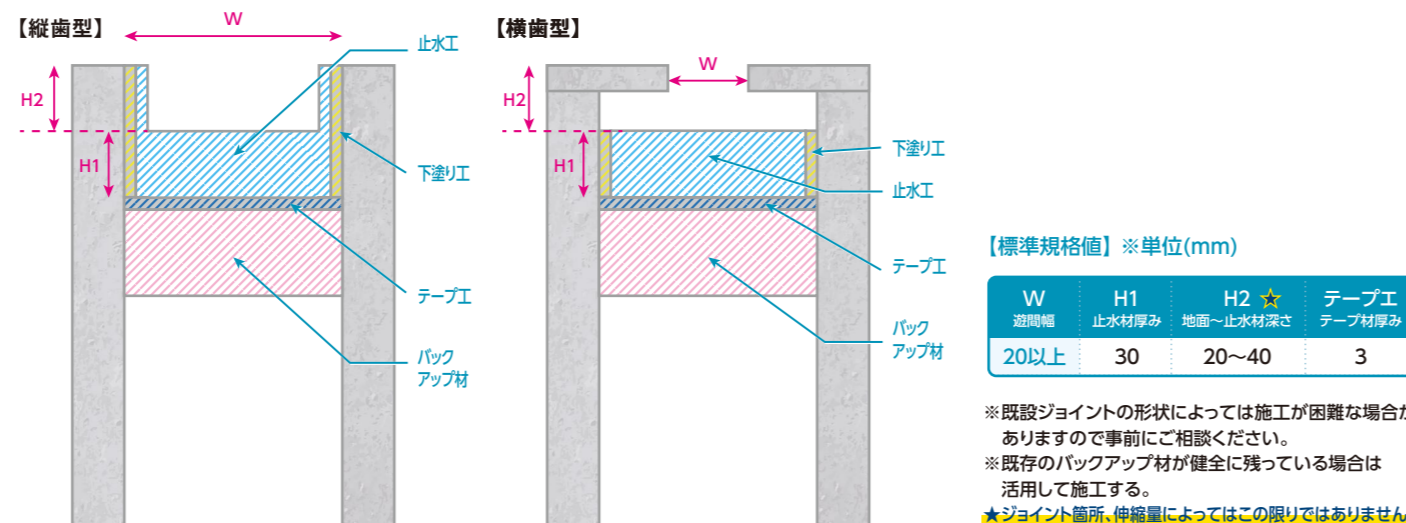
施工目安	5m/2日	
工程	既存止水材撤去	1日
	研磨	半日
	止水材充填	半日

- ⚠ 工程は目安となります。形状や施工条件によって前後します。
- ⚠ 形状や遊間幅によって施工不可場合があります。
- ⚠ 検討の際は適応可能か、KFケミカルまでお問い合わせください。

## KFシーラテクト YKB-J工法 標準仕様 Standard Specification

工程	商品名	材料名	標準塗布量	塗装間隔
素地調整				
テープ工	KFシーラテクトテープ300K	ブチルゴムテープ	—	—
下塗り工	KFウレタンプライマー50N	1液湿気硬化型ウレタン塗料	0.15kg/m <sup>2</sup>	0.5～8時間
止水工	KFシーラテクトベース2000	1成分湿気硬化型ウレタン塗料	1300kg/m <sup>2</sup>	—
地覆、立上り部充填	KFシーラテクトベース2000SU	1成分湿気硬化型ウレタン塗料	1300kg/m <sup>2</sup>	—

### 断面図



### 施工条件

- ⚠ 気温5℃以上・湿度85%以下の環境で作業すること。
- ⚠ 施工面が十分乾燥し、結露・凍結がないこと。
- ⚠ 施工面の補修歴が施工に支障のない下地であること。
- ⚠ 施工面が雨水等で濡れていないことを確認すること。(下地含水率10%以下)
- ⚠ 施工面を十分に清掃し、付着阻害要因となる異物を除去すること。
- ⚠ 施工に支障のない程度に止水処理がされていること。
- ⚠ 施工時の伸縮装置遊間が20mm以上あること。
- ⚠ 縦溝型の場合は施工後の挙動が圧縮50%以内、伸長で300%以内であること。
- ⚠ 横溝型、フェースプレート、フィンガージョイント型の場合は形状によって施工できない場合があります。

**KF** KFケミカル株式会社  
KF Chemicals, Ltd.

■ 本 社 (土木・建築事業部)  
〒105-0004 東京都港区新橋 1-1-1 日比谷ビルディング 9F  
TEL:03-6629-9033 FAX:03-6629-9023  
http://www.k-fine.co.jp/

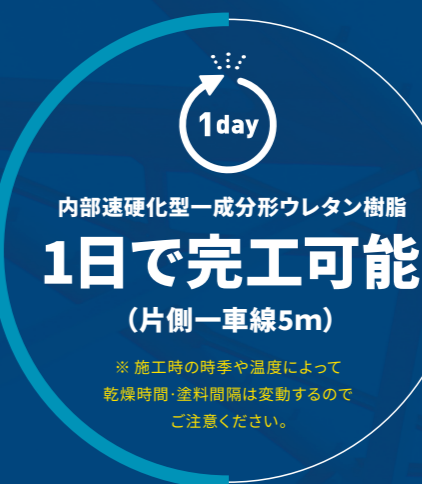
特約店

**KF** KFケミカル株式会社  
KF Chemicals, Ltd.

NETIS番号: KT-230056-A

Merit of KF Sealteck YKB-J Method

## KFシーラテクト YKB-J工法のメリット



### 1成分タイプ 1-INGREDIENT

「KFシーラテクトベース2000」は1成分タイプなので、混合不足による硬化不良がなく、塗膜性能が安定しています。

### 内部速硬化タイプ INNER CURING FASTLY

「KFシーラテクトベース2000」は硬化促進剤の添加により、内部硬化を促進し早期に止水塗膜を形成し、初期の伸縮挙動に追従します。

### 交通規制の期間短縮 PERIOD SHORTENING

速硬化性の充填材であるため1日で完工することができ、即日規制開放が可能です。

### 優れた施工性 WORKABILITY

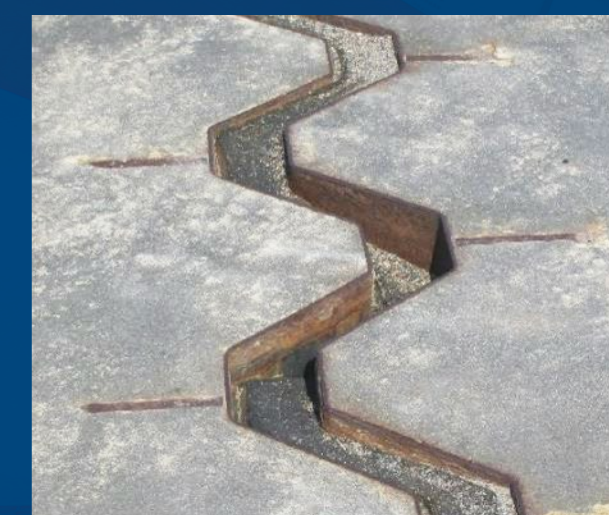
流動性が高く、狭い隙間にも充填することが可能です。

### 高耐久性 DURABILITY

紫外線による劣化がほとんどなく、せん断・伸縮・繰返し挙動に耐えることができ、耐候性・耐久性に優れます。

### 高追従性 FOLLOWABILITY

硬化後も柔軟性に優れ、-20～50℃の厳しい環境下でも伸縮性・ねじり・復元性に優れ、高い追従性を有します。



施工前



施工後



### 伸縮装置目地止水工法

# KFシーラテクト YKB-J工法

## YKB-J工法の施工手順

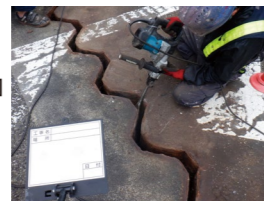
STEP 1

電動工具(ピックやエアハンマ)により既存止水材を除去。  
※遊間幅に合わせた先端金具を用い掘り起こすように行う。  
※工具が入りにくい場合は加熱した鉄棒で焼き切る



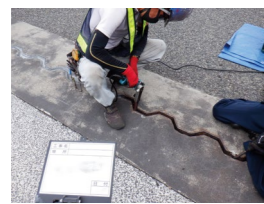
STEP 2

電動工具(ピックやエアハンマ)により鋼材部の浮き錆を研り落とす。  
※浮き錆の研り不足は破断の原因となる。



STEP 3

電動工具(ベルトサンダーやワイヤーブラシ)により鋼材部を研磨。



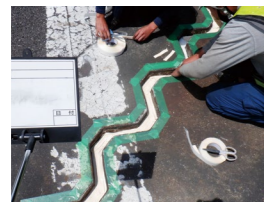
STEP 4

遊間幅に合わせたバックアップ材(軟質発泡ウレタン)を設置。  
※伸縮装置凹凸の角の部分に隙間ができないよう注意。



STEP 5

バックアップ材の上にテープ材(KFシールテクトテープ300K)を敷設。  
※緩衝材として敷設する。



STEP 6

下塗材(KFウレタンプライマー50N)を鋼材部に塗布。  
塗布後指触乾燥するまで(30分程度)養生する。



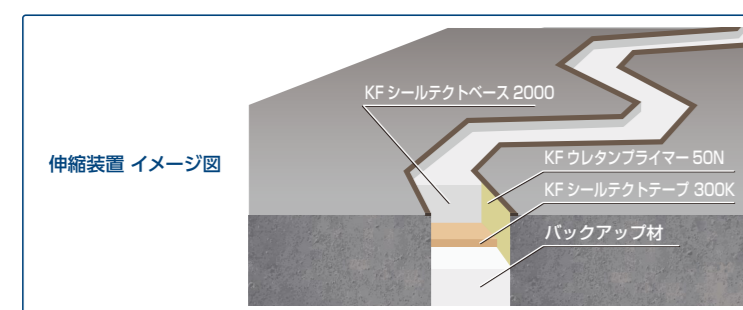
STEP 7

止水材(KFシールテクトベース2000)に硬化促進剤を添加し、機械攪拌する。1層目(所定厚みの1/3程度)を流し込み、漏洩がないか確認する。



STEP 8

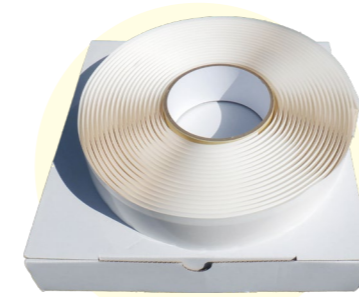
1層目が指触乾燥したら2層目を流し込み所定の厚みを確保する。  
錆浸食防止のため、鋼材立ち上がり部にも塗り付ける。



## ブチルゴムテープ KFシールテクトテープ300K

上層材の漏洩、3点接着による伸張性阻害を防止する緩衝材

荷姿 W20mm×t3mm×L8m/巻



### KFシールテクトテープ300Kの特長

- FEA TURE 1 伸張性が高く挙動に追従する
- FEA TURE 2 柔らかく加工が容易で複雑な形状にも施工可能

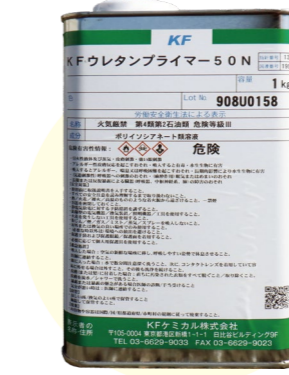
### 性能

試験項目	試験値	試験方法
止水性能	1. 耐久性能試験(連続試験) 2. 伸縮性能試験(圧縮試験) 3. 伸縮性能試験(引張試験) 4. 水張り試験	異常なし
最大引張応力	-20℃	1300kN/m <sup>2</sup>
	20℃	740kN/m <sup>2</sup>
	50℃	640kN/m <sup>2</sup>
	水中浸漬	640kN/m <sup>2</sup>
	200時間ウェザー	630kN/m <sup>2</sup>
破断時伸び	-20℃	760%
	20℃	1000%
	50℃	930%
	水中浸漬	1100%
	200時間ウェザー	960%
引張・圧縮繰返し試験	7000回	異常なし
復元性試験	50%圧縮	97%
180°はく離接着強さ	20℃	1.2kN/m
	200時間ウェザー	1.0kN/m
せん断接着強さ	20℃	1380kN/m <sup>2</sup>
	200時間ウェザー	2450kN/m <sup>2</sup>

## 1液湿気硬化型ウレタン塗料 KFウレタンプライマー50N

含浸性能が高く、鋼材と止水材を強固に付着させる下塗材

荷姿 1kg/缶  
標準塗布量 0.15kg/m<sup>2</sup>



### KFウレタンプライマー50Nの特長

- FEA TURE 1 1液タイプで混合の必要がない
- FEA TURE 2 乾燥時間が短い
- FEA TURE 3 鋼材に残るわずかな錆も含浸固化し性能を発揮する

### KFウレタンプライマー50Nの乾燥性

塗料温度	指触乾燥(代表値)	硬化乾燥(代表値)
5~10℃	2時間	8時間
10~20℃	1時間	2時間
20~35℃	0.5時間	1時間

### 使用上の注意

- ⚠ 使用後は必ず密閉し水分混入の無いように保管してください。
- ⚠ 使用した器具類は直ちにシンナー洗浄してください。
- ⚠ 放置すると硬化し洗浄が困難になります。

## 1成分湿気硬化型ウレタン塗料 KFシールテクトベース2000

内部速硬化性により、優れた柔軟性と耐久性を早期に発現する止水材

荷姿 主材10kg/缶、硬化促進剤0.3kg/缶  
標準塗布量 1300kg/m<sup>2</sup>、厚さ30mm



### KFシールテクトベース2000の特長

- FEA TURE 1 流し込みにより複雑な形状や狭小部にも施工可能
- FEA TURE 2 早期に内部から硬化し性能を発揮する
- FEA TURE 3 1成分タイプのため硬化不良がなく、塗膜全体の性能が安定している
- FEA TURE 4 硬化後も長期に柔軟性を有し挙動に追従する
- FEA TURE 5 耐候性に優れる

### KFシールテクトベース2000の乾燥性

塗料温度	指触乾燥(代表値)	硬化乾燥(代表値)
5~10℃	2時間	8時間
10~20℃	1時間	4時間
20~35℃	20分	2時間

### 使用上の注意

- ⚠ 1成分タイプですが、内部硬化を早める為に硬化促進剤を必ず使用してください。主剤10kgに対して、硬化促進剤0.3kgを添加して、電動攪拌機等で1分以上混合してください。

## 地覆、立ち上がり部の施工手順

STEP 1

電動工具等により既存止水材を除去。



STEP 2

サンダー等で施工面を研磨



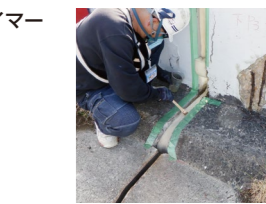
STEP 3

遊間幅に合わせたバックアップ材(軟質発泡ウレタン)を設置



STEP 4

下塗り材(KFウレタンプライマー50N)を塗布



STEP 5

止水材(KFシールテクトベース2000SU)を吸い込み式コーキングガンやヘラを用いて遊間に塗り付ける



STEP 6

空気が入らないようにし、表面を平滑に均して完成



- ⚠ 欠損部や脆弱部がある場合は復旧してから行う。
- ⚠ 遊間が100mm未満の場合に適用可能。
- ⚠ 欠損部の修復が困難、遊間が100mm以上の場合はKFシールテクトYKB-W工法で施工する。

## 1成分湿気硬化型ウレタン塗料 KFシールテクトベース2000SU

立ち上がり用に高粘度化した止水材。簡易に地覆、壁高欄の漏水を防止

荷姿 6L(7.8kg)/缶  
標準塗布量 1300kg/m<sup>2</sup>、充填厚さは遊間幅の1/2以上かつ30mm以上

### KFシールテクトベース2000SUの特長

- FEA TURE 1 ヘラで塗り付けるだけの簡単施工
- FEA TURE 2 硬化後も長期に柔軟性を有し挙動に追従する
- FEA TURE 3 耐候性に優れる



### KFシールテクトベース2000SUの乾燥性

塗料温度	指触乾燥(代表値)
5℃	33時間
23℃	7時間
35℃	1.5時間